

松田町における AIオンデマンド交通実証実験 のこれまでの経緯

令和7年11月

松田町

松田町の地域公共交通における課題

- ① **高齢化の進展等に伴い、今後増加することが予想される交通弱者への対応**
 - ・ 本町の高齢化率は今後も高まることが推計されているとともに、高齢化に伴い自家用車の運転をあきらめる方も増加するものと考えられます。これらの方々の日常生活の足となる公共交通の充実が求められます。
- ② **町民の移動ニーズに柔軟に対応した、利便性の高い公共交通網の形成が必要**
 - ・ 町民アンケート調査結果から、既存の公共交通に対する満足度は低く、自家用車の利用から公共交通への利用転換を図るためには、公共交通利用者の目的・ニーズに対応した利便性の向上を図ることが必要です。
- ③ **持続可能な公共交通であるため、町内の多様な輸送資源を総動員することが必要**
 - ・ 町内の多様な輸送資源を総動員し、公共交通を維持していくことが必要です。

松田町の地域公共交通について

鉄道駅を中心とした松田地区、山間部の寄地区で異なる環境



	分類	交通機関	位置づけ・役割
広域幹線	広域幹線交通	鉄道	広域的な移動を担う交通
	都市間交通	路線バス（幹線）	大井町、山北町、開成町、小田原市等の周辺都市を結ぶ移動を担う交通
地区内路線	地区内交通	路線バス（フィーダー）	本町の既存路線バス網であり、地区内交通（デマンド型面交通）と連動して駅等の拠点と地域間を結ぶフィーダー路線としての移動を担う交通
地区内ゾーン交通	地区内交通（デマンド型面交通）	A I オンデマンド交通システム等	既存路線バス網を補完する交通サービスとして公共交通の利便性を高めるとともに、本町町民の移動目的を踏まえ、隣接自治体も含めたゾーン内の面的な移動を担う交通
福祉交通	地域内（デマンド）	タクシーバス	利用者のドア・ツー・ドアの移動目的に対応した交通手段

事業の検討経緯

令和3年度

○足柄広域新モビリティサービス推進協議会の設置

→松田町地域公共交通会議の専門部会として、新たな交通施策を検討するための協議会を設置。

○新モビリティサービス事業計画（素案）の策定

→公設民営の考え方のもと、オンデマンド交通の導入に係る初期費用（システム導入ほか）について、町が負担して実施し、運営については民間組織が中心となって担うことを計画した。

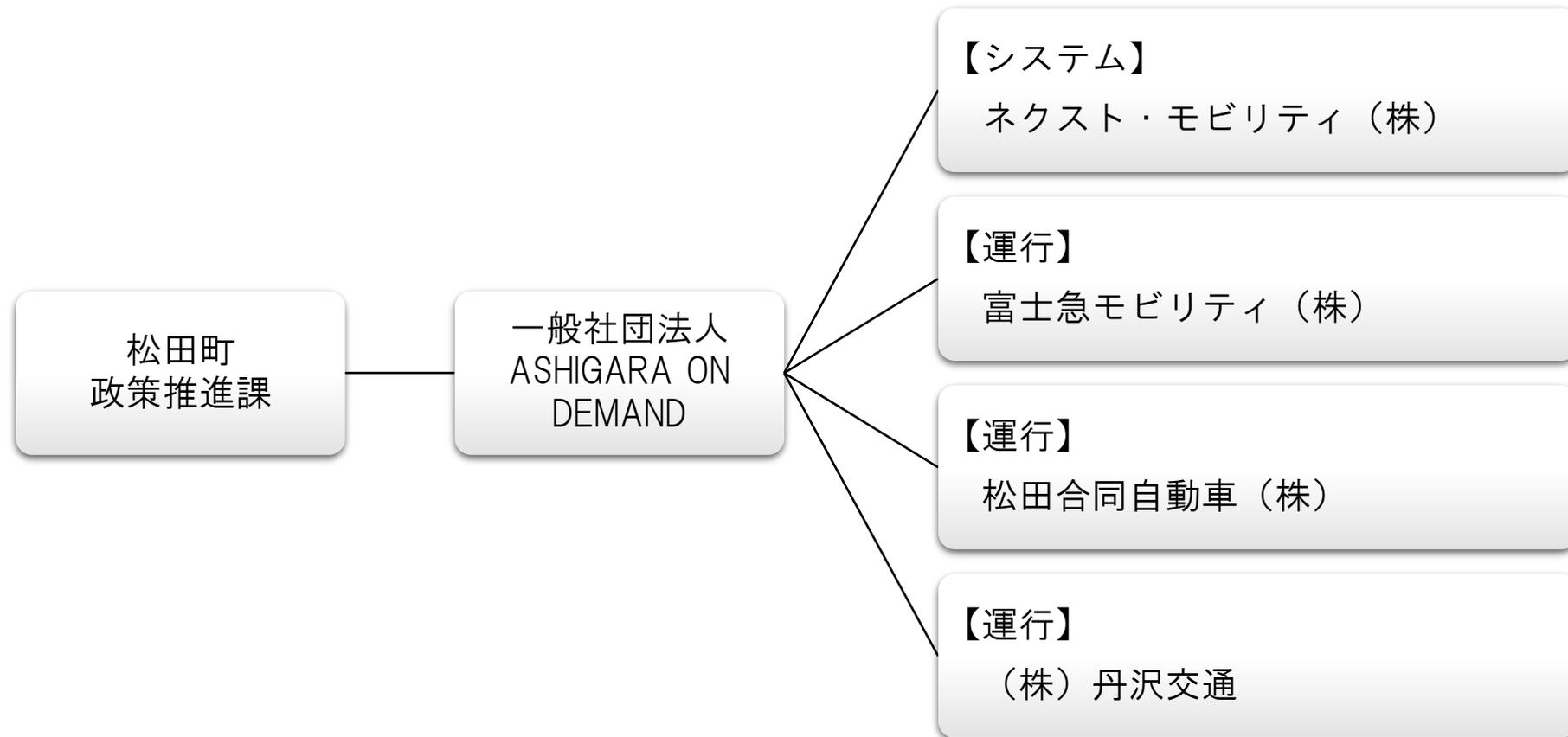
事業の検討経緯

令和4～5年度

- 松田町地域公共交通会議にて、オンデマンド交通について協議。
- 令和4～5年度にかけて「松田町地域公共交通計画」の策定を進めていたことから、町内の地域公共交通のあり方のなかに地区内ゾーン交通として位置付けて、既存路線バス網を補完する交通サービスとして、社会実証実験を行うこととした。
- 一般社団法人足柄オンデマンドを設立し、当法人が運営主体となり実証実験を実施。（令和5年10月～運行開始）

事業の実施体制

本町から一般社団法人に対し、実証実験の実施を委託



運行計画概要（運行開始当初）

運行区域	松田町全域及び大井町の一部区域
ミーティングポイント (乗降地点)	町内215箇所 大井町31箇所
運行日	運休日を除く毎日 運休日：年末年始（12/29～1/3）
運行時間帯	午前6時30分～午後10時00分
運行車両	ワンボックス車両（乗車定員8名（運転手のぞく）） 4台

運賃

運賃 (1回乗車)	大人 300円 ※小学生、障がい者、介護者 100円 ※未就学児 無料	
定額制運賃 (サブスク)	同一世帯員全員 ※回数制限なし	1ヶ月／ 6,000円
		3ヶ月／17,100円
		6ヶ月／32,400円
	1名（小学生以上） ※回数制限なし	1ヶ月／ 4,500円
		3ヶ月／12,825円
		6ヶ月／24,300円
	1名（小学生以上） ※30回まで	1ヶ月／ 3,000円
		3ヶ月／ 8,550円
		6ヶ月／16,200円
	1名（65歳以上） ※回数制限なし	1ヶ月／ 3,000円
		3ヶ月／ 8,550円
		6ヶ月／16,200円

運行計画概要（令和6年12月見直し）

7

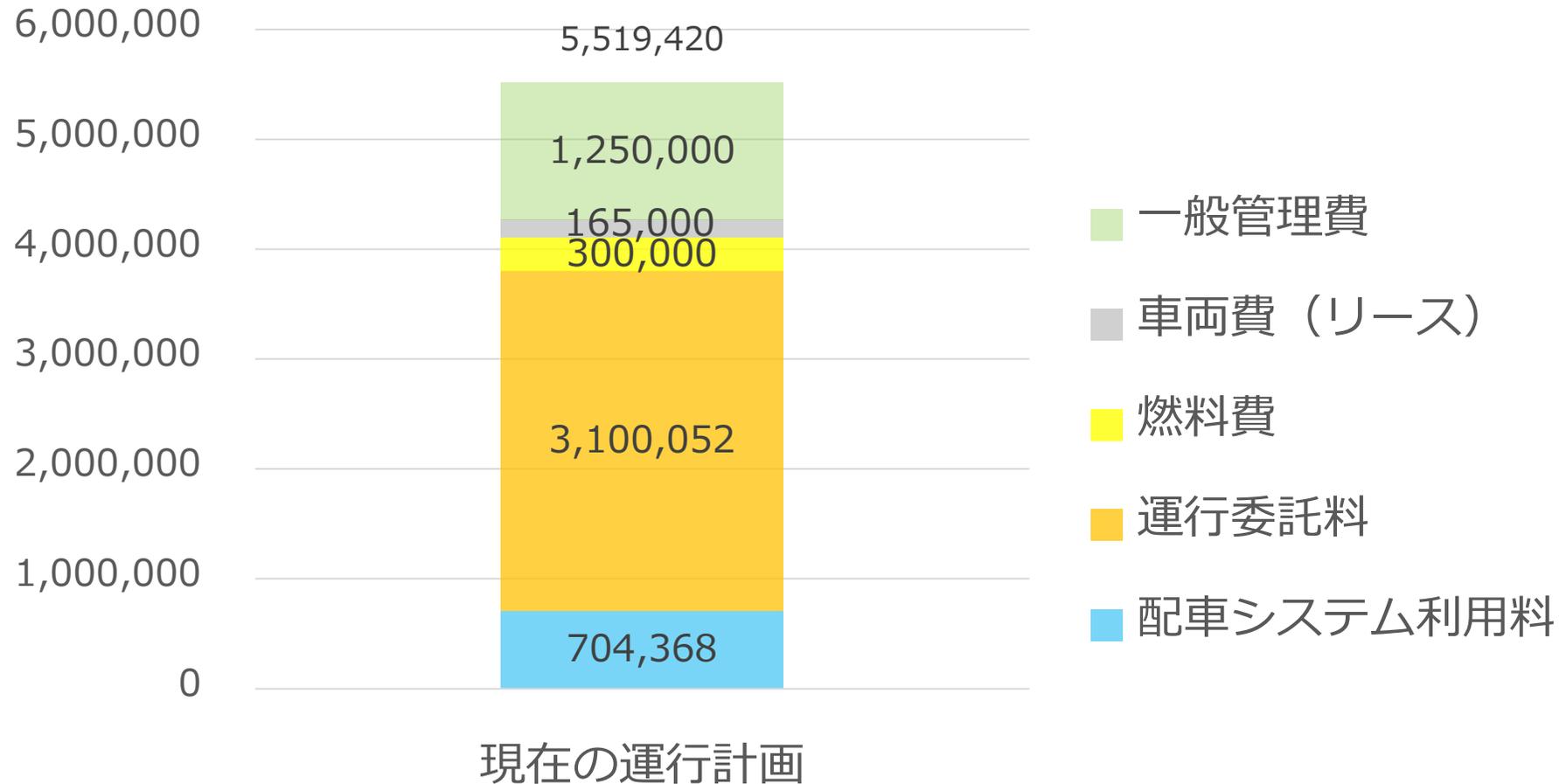
運行区域	松田町全域及び大井町一部区域
ミーティングポイント (乗降地点)	町内215箇所 大井町31箇所 開成町13箇所
運行日	運休日を除く毎日 運休日：年末年始（12/29～1/3）
運行時間帯	（平日・土）午前7時00分～午後9時00分 （日・祝日）午前8時00分～午後8時00分
運行車両	ワンボックス車両（乗車定員8名（運転手のぞく）） 3台

運賃

		アプリ・LINE	電話
運賃 (1回乗車)	大人	500円 (町外+300円)	600円 (町外+300円)
	子ども (小学生)	300円	400円
	未就学児	0円	0円
	障がい者	300円	400円
	介護者	300円	400円
	定額制運賃 (サブスク)	大人	1ヶ月／ 7,200円
3ヶ月／20,520円			
6ヶ月／38,880円			
子ども (小学生)		1ヶ月／ 3,600円	
		3ヶ月／10,260円	
		6ヶ月／19,440円	
シルバー (65歳以上)		1ヶ月／ 5,600円	
		3ヶ月／15,960円	
		6ヶ月／30,240円	
※家族割として同一世帯で複数の申し込みをすることで10%割引			

実証実験に要する経費

現在の運行計画における月あたりの経費は以下のとおり

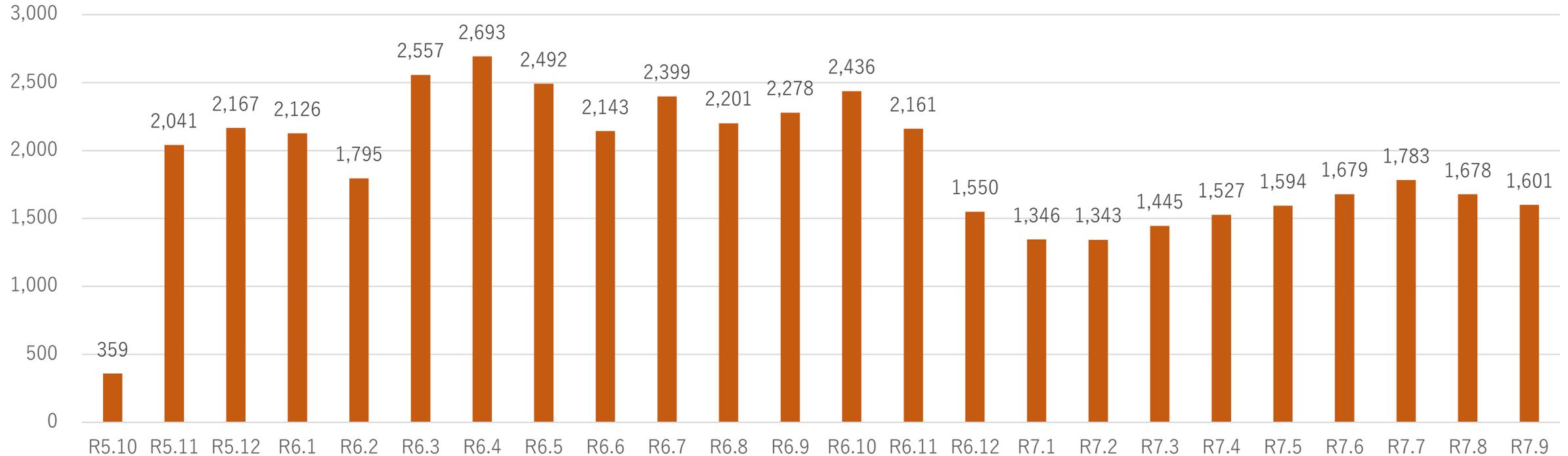


のるーと足柄の利用状況

現在、月当たり延べ約1,600人の利用。（人数は約200人）

令和5年10月から実証運行を行ってきた、AI技術を活用したオンデマンド交通「のるーと足柄」の運行実績

○延べ利用者推移

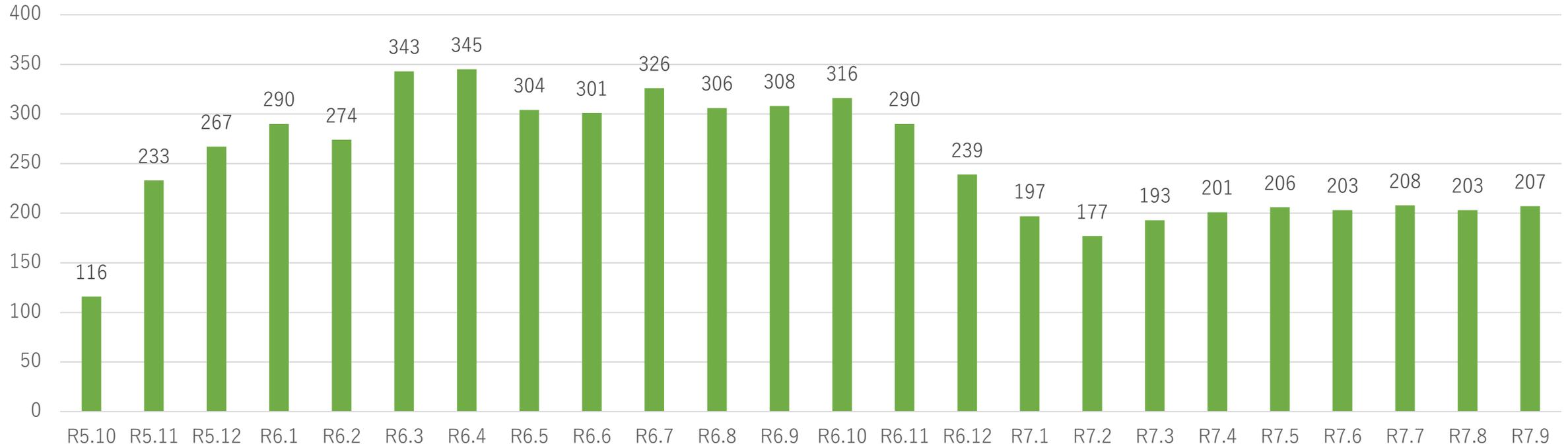


のるーと足柄の利用状況

現在、月当たり延べ約1,600人の利用。（人数は約200人）

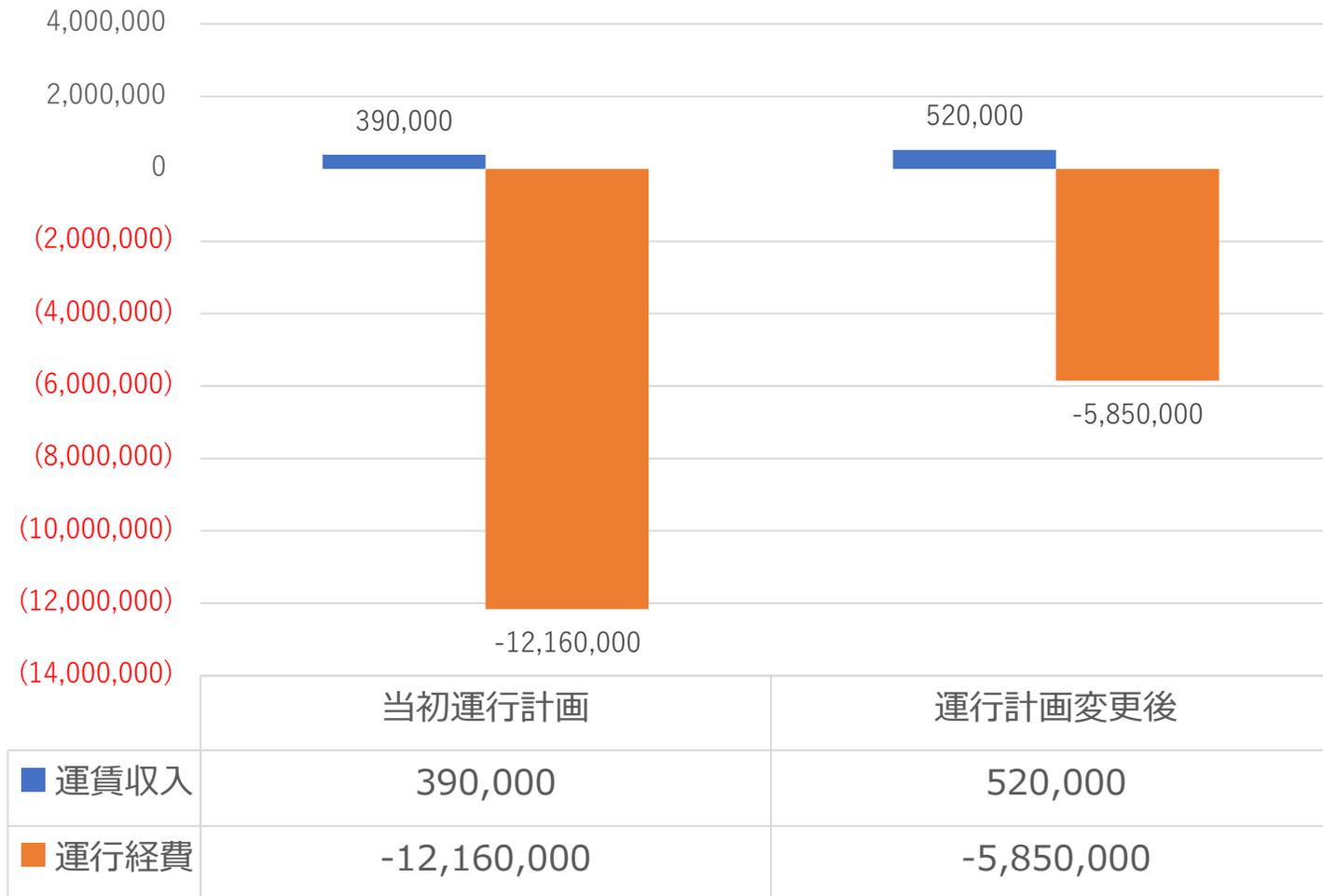
令和5年10月から実証運行を行ってきた、AI技術を活用したオンデマンド交通「のるーと足柄」の運行実績

○利用者推移（実際に使った人の人数）



のるーと足柄の収支状況

収支率（運行経費に対する運賃収入の比率）は約8.9%。



【当初運行計画】
令和5年10月に運行を開始した当初の収支状況

【運行計画変更後】
令和6年12月に運行計画の変更を実施

（主な変更点）

- ・車両台数の削減
- ・運行時間の短縮
- ・運賃の見直し

⇒約6,360万円/年
収支がマイナス

実証実験後の交通施策について

現在実施中のアンケート及び運行実績を踏まえ、検討を進めていく

【検討のポイント】

現在の運行に係る収支を町の支出によって全額補填することは困難なことから、次のようなポイントを中心に、町、足柄オンデマンドにて協議を進める。

- ・ 事業実施体制の検討
- ・ 運行計画の検討
⇒ 運行台数の検討、運行エリアの検討、利用対象者の検討

以下、参考資料

実証実験から得られた数値

約20人

車両一台当たりが1日に
運べる人数

約62万円

運賃収入（月あたり）
運行計画変更後

約11.2%

収支率
（現在の運行計画にて）

203人

ユニークユーザー数
（R7.6に月1以上利用した人数）

46%

車両の稼働率（R7.6）
シフト時間のうち乗客を乗せてい
た時間の割合

39%

乗合率（R7.6）
乗客を乗せていた時間のうち2組
以上を乗せていた時間の割合

実証実験から得られた数値

約13.5%

町域を跨いだ移動
(R7.6の総利用者に対する割合)

		目的地				総計
		寄	松田市街地	大井町	開成町	
乗車地	寄	7	391	18	0	416
	松田市街地	354	400	152	25	931
	大井町	18	138	13	0	169
	開成町	0	17	0	0	17
総計		379	946	183	25	1,533

のるーと足柄への御意見

ご利用者から声（令和6年度に行った町民アンケートから）

✓運賃について

⇒高額感による利用頻度の低下、距離と料金の不公平感、支払い能力への配慮の必要性

✓オンデマンド交通への意見や期待

⇒定時制のある運行への要望（特に寄地区）、オンデマンド交通よりタクシーや路線バスを増やしてほしい

✓補助制度の必要性

⇒高齢者等への配慮、タクシー券の要望

✓運行への意見

⇒運行エリアの拡大（小田原や秦野）、夜間運行

✓予約

⇒予約の取りにくさ（乗りたい時間に予約できない）、電話予約の必要性

のるーと足柄への御意見

ご利用者から声（令和6年度に行った町民アンケートから）

✓乗降場所について

⇒乗降場所（多すぎる、自宅から遠い）、新松田駅のロータリーへの乗入

✓その他

⇒利用者目線でのサービス改善

情報提供の不足とアクセシビリティの改善

既存公共交通やまちづくり（新松田駅周辺整備）との連携

コストと利便性のバランス

将来を見据えた交通インフラとしての継続性への期待

他の自治体の取り組みとの連携

松田町で行っている交通対策

高齢者等移動手段確保助成事業

高齢者等の外出機会を創出し、日常生活の利便性向上と社会活動への参画を促すため、タクシーとのるーと足柄の運賃の一部を助成。

※令和7年10月から補助内容を拡充しています。

対象者

- 75歳以上の方
- 妊娠中で母子健康手帳をお持ちの方
- 出産後1年以内の方
- 免許証の自主返納をした65歳以上の方

補助額

- タクシー
⇒ 初乗り運賃相当額
- のるーと足柄
⇒ 500円

利用できるタクシー

- 松田合同自動車
- 小田原報徳自動車
- 箱根モビリティサービス
- 神奈中タクシー
- 秦野交通

松田町で行っている交通対策

高齢者バス定期券助成（まちのりパス65）

路線バスの利用促進等を図るため、富士急モビリティと連携し、高齢者（65歳以上）のための「シルバー定期券」を導入し、購入のための助成を行っています。

対象者

- 町内在住・在勤の
65歳以上の方

販売額

年間7,340円
（通常販売額22,000円
の3分の2を町が補助）

販売場所

富士急モビリティ（株）
新松田駅前案内所

松田町で行っている交通対策

通学バス定期券購入助成

路線バスの利用促進等を図るため、学生を対象とした通学定期券の購入費の助成を行っています。

対象者

➤町内在住の
小学生・中学生・高校生
大学生・大学院生
短期大学生・専門学校生

補助額

通学定期券購入費の
3分の2

販売場所

富士急モビリティ（株）
新松田駅前案内所

松田町で行っている交通対策

移動スーパー「くるまっくん」

2台体制で、生鮮食品や生活必需品などを積んで、事前に決められた拠点を回り、地域の買い物をサポートしています。

運行日

年末年始を除く
月曜日～金曜日

取扱商品

生鮮食品、総菜、
飲料、日用品など



松田町で行っている交通対策

買い物支援サービス「げんき号」

松田町社会福祉協議会にて、令和3年から高齢者の買い物支援を目的に、買い物ツアーサービス「げんき号」が運行されています。

対象者

寄地区、松田庶子地区の70歳以上の高齢者のみの世帯で自家用車や公共交通の利用が困難な方
(一人で車の乗降りや買い物ができる方)

内容

週1回、自宅からスーパー等までの送迎を、300円で利用できます

松田町で行っている交通対策

松田中学校スクールバス

松田中学校へ通学する寄地区の生徒の登下校用としてスクールバスの運行を行っています。（朝夕各2便を運行）

障害者バス定期券助成（まちなり福祉パス）

障害者の外出を支援し、その利便性を向上させることを目的に定期券購入の助成を行っています。

対象者

▶ 町内在住の65歳未満の
身体障害者手帳
療育手帳
精神障害者保健福祉手帳
のいずれかをお持ちの方

販売額

年間7,340円

販売場所

富士急モビリティ（株）
新松田駅前案内所